

令和2年度 第2回 石垣市地域創生推進会議 議事録

1. 開催概要

日時	令和2年12月18日(金) 13:30～15:30
場所	石垣市教育委員会 2階会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回会議の議事について 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 人口ビジョンについて (2) 基本目標及び主な施策の修正について (3) 基本目標及び主な施策のKPIの設定について 4. 事務連絡 5. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1：令和2年度第1回石垣市地域創生推進会議議事録 ・ 資料2：第2期石垣市地域創生総合戦略（骨子案） ・ 資料3：第2期石垣市人口ビジョン検討資料「人口の将来展望について」 ・ 資料4：基本目標及び主な施策のKPI検討資料 ・ 資料5：第2期石垣市地域創生総合戦略（素案）
出席者 (委員)	<p>委員長 知念修 八重山市立保育園連盟園長会 会長</p> <p>副委員長 宮良永秀 元八重山教育事務所長</p> <p>新里裕樹 一般社団法人八重山青年会議所 理事長</p> <p>西仲野正巳 一般社団法人石垣市観光交流協会 事務局長</p> <p>前村司 沖縄振興開発金融公庫八重山支店 支店長</p> <p>※石垣信治委員（農協）及び前川義統委員（商工会）は欠席</p>
出席者 (事務局)	<p>慶田城悟 石垣市役所企画政策課 地域創生係 係長</p> <p>大浜光弘 " " 主事</p> <p>小野耕輔 玉野総合コンサルタント(株) (総合戦略策定支援業務受託者)</p> <p>前田亘輝 "</p>

2. 報告

(1) 前回会議の議事について（質疑応答） 13:35～

委員	議事録の4ページ中段の発言について、「半数」を「約半数」に修正してほしい。
事務局	承知した。

3. 議事

(1) 人口ビジョンについて（質疑応答） 13:45～

委員	資料3の2ページ目について、パターンによって2020年の差が違うと思うが、これは何が違うのか。
事務局	パターン①、②は前回計画と同じ条件にしている。 (※推計の条件を説明) パターン③について、社会増減の値が社人研の推計結果と現状の実態に乖離があるので、精査したところである。
委員	なぜ、社人研推計と現状の実態に乖離があるのか。
事務局	国勢調査は5年ごとに行っている。あくまで推測になるが、前回の国勢調査時点から観光需要の伸びが大きく変動し、移住者等も増えたことで、このような乖離が生まれたと考えられる。

(2) 基本目標及び主な施策の修正について（質疑応答） 13:55～

委員	基本目標1(1)について、地域の「強み」と「地の利」は同じ意味ではないか。重複するのでどちらかでもよいのではないか。
委員全員	「地域の特色、強み」と「地の利」は意味合いが同じであるため、「地の利」について削除する方がよい。
事務局	そのように修正を行う。
事務局	離婚防止対策について、個人間の問題でもあり、行政では対策・介入が難しいものである。また、直接的な離婚防止の施策ではなく、一人親世帯に対する支援などその他の対策も検討したが、そのような文言にすることで、むしろ離婚を進めてしまう恐れもあるという意見もある。事務局としては、離婚の防止という表現は記載せずに、その他の支援などを検討してはどうかと考えている。
委員長	石垣市は離婚率が高いため、一人親世帯への支援・貧困対策についての文言の記載は必要ではないか。
委員	離婚が何を原因としていて、それが悪いことなのか整理できていない。離婚自体が悪いとは言いがたい。一人親世帯への支援ということで、(2)子育てセーフティネットに基点を置けば、安心して子育てができると

	いう基本目標が達成できるのでよいと思う。
委員	離婚防止という施策は載せなくてもよいと思う。離婚によって出てくる課題への対応は必要と思うが、総合戦略にはなじまないと思う。また、離婚そのものは当事者の問題解決になる場合がある他、学校現場では子供も救われるという場合もある。離婚そのものが悪いという記載はせずに、やむを得ず離婚した後の支援策を充実していくことが考えられる。離婚の理由について、もしわかるのであれば、その理由に対する支援ができないか。様々な理由があると思うので、結婚生活の中で困難な部分があれば、家庭生活を支援するような相談窓口などの対応が必要ではないか。
委員長	離婚が悪いということではないが、離婚率が高いというのも問題ではある。貧困問題などもからむと思う。何か別の表現ができないか。
事務局	「子育てセーフティーネットの充実」の具体的な事業の中で実際に行っている一人親世帯への支援、離婚する前の相談窓口などに取り組むことが考えられる。事務局としては、具体的な事業の中での取り組みとして整理したい。
委員長	現在も子育て支援課において相談窓口があると思うが、知らない人も多いと思う。もっと前面に出してアピールした方がよいと思う。記載内容について、事務局で検討してほしい。
委員	同意見である。貧困の問題に対してはどこで位置付けることになるか。文言としても入れた方がよいと思う。
事務局	基本目標 3 (2) の「子育てセーフティーネット」のキーワードの中で、貧困対策や相談窓口の充実などの記述を行う。具体的な取り組みについては、各事業課にて検討するとしてほしい。
委員	セーフティーネットの具体的な方向性が見えるとよいと思う。
委員	基本目標 1 (4) について、当初の国の考え方は女性・高齢者・障害者など誰もが活躍できる（一億総活躍）社会の実現であったと思うが、コロナ禍のなかで、テレワーク等の多様な働き方と混ざってしまった印象がある。もともとはSDGsに近い考え方と思う。誰もが働きやすいまちとして基本目標 4 の横断的な目標に入れた方がよいと思う。 基本目標 4 (5) の「未来を担う若者への投資」については、資格取得支援等に取り組んでおり、基本目標 1 (3) に入れた方が馴染むのではないか。 基本目標 2 (1) の「自然環境の保全」については、石垣市はSDGs 未来都市に制定され、SDGs 推進計画との連携が必要であり、基本目標 4 (1) に記載した方がよいと思う。

委員	基本目標 4（5）と基本目標 1（3）は並べた方が具体的でわかりやすいのではないかと。
委員長	未来を担う若者への投資は、施策としても残した方がよいと思う。
事務局	並べて記載するか統合して表記を変えるか検討する。基本目標 1（3）と基本目標 4（5）は取り組みが重複するところがあり、統合した方がよいと考えているので庁内で検討する。
委員	「多彩な人材の受入・育成」は企業誘致、地元の企業と本土の企業の連携、ワーケーションなどのイメージで、「未来を担う若者への投資」は、地元の若者の育成のイメージであり、別の方がいいのではないかと。基本目標 4（4）の「ふるさと納税の活用」については、宮古島市などでは関係人口・交流人口の拡大の項目で記載している事例もある。横断的目標か関係人口かどちらの中に入れての方がよいのか。
事務局	企業版ふるさと納税については、関係人口・交流人口の拡大に限らない様々な取り組みで活用できるという認識であり、そのため横断的な目標に入れている。

（3）基本目標及び主な施策の KPI の設定について（質疑応答） 14:30～

委員長	この KPI は担当部署から上がってきたものか。
事務局	そのとおりである。各施策を示し、その達成状況を確認できる指標として担当部署にて検討を行った。
委員	過去と比較できるもの、県内の中での比較・立ち位置などの視点も必要である。例えば、牛と米などの生産量などは県内一位である。飲食・宿泊業者の就業者数なども強みという面では整理してもよいかと思う。そのようなデータがなければ、例えば「新しい観光コンテンツの創出」については、新しい取り組みを行ったことを指標としても、全体の指標への達成につながると思う。
委員	市民目線でみると、行政側から指標案を示してもらい、議論したい。この会議の中で上げるのは難しい。
委員	基本目標 2 について、SDGs 未来都市の取り組み、リサイクル、リソースをどういう形でやっていくのか、何かしらの数値で示すことができるか。再生エネルギーの活用、ビーチクリーン活動なども取り組まれている。
事務局	SDGs 計画については、関係部署から現在策定中と聞いている。3 月までに間に合えば掲載するが、間に合わなければ来年以降に追記する形で検討を行いたい。
委員長	ゴミに関する計画があり、リサイクルの目標などが定められている。担当課と調整を行い、既存計画の指標も活用してはどうか。

委員	マイクロツーリズムを考えると、石垣の歴史・文化を伝えるガイドを増やすということも考えられる。例えば、京都市では、普段見られない寺の見学や複数のお寺をじっくりと回っていくようなツアーの検討もされている。
委員長	商工課にて、文化財を巡る同じような取組みを行っている。10年以上取り組んでいると思うが、案内などは表立っては行っていない。そのような取組みをアピールしてもよいと思う。
委員	学校教育関係としても、文化の継承は重要な課題である。対外的なものだけではなく、教育委員会関係としても取組みが考えられると思う。
委員長	宮良川の環境教育も長い間行っている。そのようなものは県内にはないと思う。地域活性化などの中に入れておきたいところがあれば検討してほしい。
委員	移住フェアの回数や参加者数など移住に関する活動記録なども指標にならないか。また、ブランド総合研究所が調査を行っている魅力度ランキングの石垣市の結果も考えられる。魅力度ランキングについて、ここで暮らしたいという事に繋がるので基本目標2(3)の③に入れてもいいと思う。
委員	インバウンド数は着目しないのか。昨年度は20万人程度となっている。現在は、コロナ禍でクルーズ船や飛行機が止まっているが、次年度以降は来ると考えられる。空路で来るインバウンド客は消費額が高いため、観光業界では重要である。空路の観光客を誘客する方向でインバウンド観光客数も入れることを検討してほしい。
事務局	ご意見を踏まえ、検討を行う。
委員	基本目標のKPI、施策のKPIは両方必要なのか。重複するところもあるが、両方必要なのか。
事務局	前回は具体の事業に対するKPIのみ設定されていた。 今回、待機児童数が重複しているが重要なものとして基本目標にも施策にも入れた。
委員	施策にあるのであれば、基本目標には入れないでよいと思う。
委員長	施策をしっかりと検証すればよいと思うので、施策のKPIだけでよいと思う。
事務局	ご指摘を踏まえ、施策を実施・検証することで、基本目標の達成を目指すこととし、基本目標にはKPIを設けないこととする。
委員長	基本目標3のKPIである「合計特殊出生率」は主な施策1のKPIとしてはどうか。
事務局	そのように整理する。
委員長	基本目標3(4)に「離婚の悩み相談の充実」とあるが、現在でも行っ

	ている取組みがあるので、それも踏まえた指標の設定を行えないか。
委員	学校でも親の子育て悩み相談がある。スクールカウンセラーが対応しているが、相談を受けることで改善する例もあり、ニーズが高まっている。学校現場においても、子育て相談が大きい比率を占めている。
委員長	教育委員会の文言が入っていないので、そのような支援や取組みを文言、指標としても入れた方がよい。
事務局	ご意見を踏まえ、検討したい。
委員	基本目標 3 (3) に保育士の登録者数、女性の正規雇用率、児童クラブの数、事業所内保育所数などを設定することで、子育てと仕事の両立がしやすい環境なのか分かりやすいのではないか。課題も見え、また、その達成状況によって解決策も見えてくる。
委員長	基本目標 4 (3) の「観光客用防災備蓄品数」について、どこの部署でどのような取組みを行っているのか。今まではなかったのか。
事務局	防災危機管理課にて、常時 1.3 万人の 3 日分の非常食等防災セットを揃えることを目標に進めている。それにより、観光客が災害等に遭った際でも行政の支援が受けられる体制を構築したい。市民向けの備蓄はあったが、観光客向けは今まではなかった取組みである。
委員	基本目標 4 (3) について、石垣市の公式ラインアカウントが便利でとてもわかりやすい。コロナの情報や何か起きた際の情報がすぐに確認できる。普及率や登録率が上がれば、それだけで防災ネットワークが構築されると思う。住民よりに作られていて、とても良い取り組みと思う。ぜひ普及率を上げてほしい。
委員	マイナンバー登録の周知、コロナの感染状況の周知などもよい。ぜひ普及してほしい。
事務局	登録率はまだまだ低いので、増やすように努力したい。
委員	子育てにおいても、有効である。
委員	全員登録してくださいとすることも考えられる。
委員長	基本目標 4 (4) の「企業版ふるさと納税」について、担当課はどこになるのか。現在の通常のふるさと納税の寄付額はどの程度か
事務局	企業版ふるさと納税についても、引き続き、企画政策課が担当する。現在の通常のふるさと納税の寄付額は確認させてほしい。
委員長	尖閣の資料館は施設として必要なのか。箱ものは維持管理なども大変になると思う。
委員	既存施設を充実させてもよいと思う。
委員長	博物館構想はなくなったのか。博物館に尖閣の歴史も含めて、充実させてもいいのではないか。拠点地の観光施設にもなるように作ったほうが

	いい。
事務局	正確には把握していないが、具体的な進捗はないと聞いている。
委員	教員免許の資格取得については、若者への投資でもある。ぜひ継続してほしい。
委員長	保育士の資格取得支援とあわせて記載してはどうか。子育て、待機児童に関係するが人材育成にも関係している。将来を切り開くための大きな取組みなので、保育士、教員の資格取得、採用等を打ち出してほしい。また、給付型奨学金についても、投資の一つになる。子供たちの学習への支援メニューもぜひ連携してほしい。
委員	支援メニューの充実に取り組んでいきたい。

以上